

# ス・ユ・ニ・日

版 コ ス ネ シ

道新 12/11 雪の芸術 - 初回 12/11 (本編トップ追加)  
 甲新 12/11 ペナントめざして - 大島カマ - 84頁 ( " )  
 高知新 12/11 本編同V  
 新産 12/11 84

No. 421 37. 1. 9

## 一 日本見聞記

ケネディ長官来日

ケネディ大統領の弟、ロバート・ケネディ司法長官夫妻が二月四日来日しました。弱冠三十六才ながら兄ケネディの片腕としてアメリカ政界きっての実力者です。こんども多忙の兄にかわって何でもみてやろうと日本を訪れたもの。来日した翌日から政財界要人から全学連の学生まであらゆる階層の人々と話しあうため早朝から深夜までエネルギーシユなスケジュールをくんで活動をつづけています。殊に早稲田大学では左翼学生の野次の嵐にあいましたが、これと堂々わたりあうなど、中々の根性をみせていました。

## スポーツ

## 一 願いも新たに

奈良・山梨

別当監督をむかえた新生の近鉄バッファローズは、キャンブインに先き立ち、権原神宮へ選手全員で参拜。万年最下位の汚名をばん回しようと、必勝の神だのみです。そちらが神様ならこっちは仏さまだと、日蓮宗の本山身延山にやってきたのは、宇野監督ひきいる大毎オリオンズ。昨シーズンの不調の原因は信心が足りないからだ、永田オーナーじきじきのお達しで今年は全員が参加。荒行僧たちから悪魔退散の御祈禱を神妙にうけていました。

## アイモ風土記

## 一 "アノコの島"

アイモ風土記

東京から南へ一〇キロ。伊豆の大島は椿の季節の訪れと共に、洋行気分観光客が、連日、棧橋を埋めています。だが、観光地大島もその裏にまわれれば、やせた火山灰地に畑をもつ農民が島民の半数を占めて、速成のサヤエンドウが最大農産物。又、周囲を海にかこまれながら、零細漁業の為、天草のシズン以外は、失対事業で生計をたてる漁民が大部分の有様です。島内産業の花形だった椿油も、新化粧品品の登場で昔日の面影はなく、切りたおされる椿の木もあります。なんとかして、大島椿の伝統を維持しようと、第一回のミス黒髪コンクールが、今年はじめてひらかれました。しかし、応募者は十余名。このように島内産業の斜陽化を尻目に、巨大観光会社が島外から進出を企んでいます。島の人達も自分達の所有地を観光会社に提供して共存共栄策をねるなど、観光争奪戦の火花が見られます。やがて、大島は巨大観光資本の前にその風土を一変していくことでしょう。

bat

3/11

11/9

1/11